

開設年度		開講部局	
2015		共通教育	
科目名			
公共哲学論（戦後編）			
英語科目名			
Public philosophy theory			
前後期	開講区分	科目形態	単位数
後期	毎週	講義	2
(25年度以降入学生)中分類		(25年度以降入学生)小分類	
b. 知力：人文・社会科学		10. 法・政治を学ぶ	
(24年度以前入学生)大区分		(24年度以前入学生)中区分	
教養科目		人間教育科目	
受講学部学科			
全学部全学科			
担当教員		担当教員所属	
吉田健一			
連絡先 (TEL)		連絡先 (MAIL)	
099 - 285 - 3753		k5621643@kadai.jp	
オフィスアワー (授業時間外の対応)			
随時可 (但し、事前にメールか電話で連絡をください)			
共同担当教員			
メインキーワード		サブキーワード	
社会問題への理解と実践			
授業概要 (目的・内容・方法)			
<p>本講義は西部邁著『日本の保守思想』（旧題：『思想史の相貌』）を受講生と共に読み進みながら、その中で取り上げられている思想家（作家、評論家、政治家）の思想を理解し、同時に西部氏によってなされている評価、批判についての妥当性を検討する。この「戦後編」において取り上げる人物は、吉田茂、坂口安吾、竹内好、吉本隆明、小林秀雄、福田恒存の6人である。主に戦後に活躍した人物を取り上げる。</p> <p>「思想なき時代」といわれる現代、我々の周囲には「思想なき精神」が広がり、「精神の空洞」が果てしなく広がっている。そんな現在、その思想の是非はともかく、特徴的な思想をもった近代の日本人に学ぶことは非常に大きな意義があると考えられる。</p> <p>まず、この講義の第一の目的は、戦後の思想家（作家、評論家、学者、政治家を含む）について学ぶことそのこと自体である。そして、第二の目的は、これら取り上げられた思想家への西部氏の評価を検討することである。教科書として使用するテキストの著者の西部氏は保守思想家として名高い評論家であるが、この本で扱っている人物について、多くの場合（全部ではないが）かなり批判的な評価を下している。それは西部氏が近代化、日本の無原則な西欧化、そして大衆社会というものに非常に批判的な考えをもった人物だからであり、少しでも大衆を信用するという態度を示した思想家については批判的な評価を下している。</p> <p>だが、本講義においては、必ずしも西部氏の評価を是とした講義のみを展開する予定はない。つまり、西部氏にそのまま学び、大衆蔑視の視点をもって満足することが目的ではない。西部氏によって取り上げられた思想家の思想を丹念に検討するとともに、その思想家への西部氏の評価の妥当性をめぐっても検討したい。これは、逆に西部氏を全面的に批判して、西部氏に批判された思想家を擁護するということでもない。西部氏を全肯定、全否定するのではなく、近代の思想家そのものの検討と西部氏の評価と批判それ自体を、検討するということの両方を行うのがこの講義の中身である。</p> <p>受講生の諸君も、講義担当者（吉田）の解説を聞きつつ、自ら、この本で西部氏によって論じられた思想家と西部氏の評価の両方を検討して欲しい。一人の人物について2回を充てている。思想家そのものへの解説をした後、『日本の保守思想』を読み、西部氏の評価を説明し、対象とされた思想家の思想と西部氏の評価を検討する。この講義は極めて真面目で骨太の講義である。全部の回、真面目に出席し、自らものを考える姿勢をもった人のみを対象として講義を行う。</p>			
学習目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 戦後の日本人の思想家、作家、評論家、政治家がどのようなことを考えて来たのかを理解する。 2. 日本の戦後社会における思想状況への理解を深める。 3. 近代とは何か、日本における欧化とは何だったのかといった命題について自分なりに考える。 			

4.戦後日本社会とは何だったのか、大衆とは何かという命題について自分なりに考え、これからの日本社会を構想する。

5.思想するとはどういうことなのかを深く考え、自ら主体的に「思想する」態度を身につける。

授業計画・試験の有無(16回に分け、回数、授業内容、自学自習等)

- 1.はじめに - 思想とは何か
- 2.吉田茂 戦後現実主義の限界(1)
- 3.吉田茂 戦後現実主義の限界(2)
- 4.坂口安吾 ニヒリズムの脱出口(1)
- 5.坂口安吾 ニヒリズムの脱出口(2)
- 6.竹内好 異人としての民族主義者(1)
- 7.竹内好 異人としての民族主義者(2)
- 8.吉本隆明 大衆イメージの動揺(1)
- 9.吉本隆明 大衆イメージの動揺(2)
- 10.小林秀雄 審美主義の鋭利と閉塞(1)
- 11.小林秀雄 審美主義の鋭利と閉塞(2)
- 12.福田恒存 保守思想の神髄(1)
- 13.福田恒存 保守思想の神髄(2)
- 14.まとめ(1) 保守思想とは何か、大衆とは何か
- 15.まとめ(2) 近代化とは何だったのか、現代はどういう時代なのか

授業外学習(予習・復習)

事前に次の時間に説明する部分(本と要約した冊子の両方)を一読してくることを。

受講要件	成績の評価基準
指定された教科書を必ず購入すること。事前に次の時間に説明する部分(本と要約した冊子の両方)を一読してくることを。日本の戦後の思想に関心があることが望ましい。真面目に全ての回を受講する覚悟のある方。	毎回のフィードバックシートの提出(50%)、期末レポート(50%)。レポート提出の要件は3分の2以上の出席。
教科書	参考書
書名 : 『日本の保守思想』 著者等 : 西部邁 出版社 : 角川春樹事務所 出版年 : 2012年 ISBN : 13: 978-4758436625	なし
地域志向科目の区分(平成27年度入学生用)	地域志向科目の領域

その他

真面目に受講する気のない人は受講登録をしないでください。